

# 自己評価アンケート集計（職員）

5：よくできている 4：まあまあできている 3：あまりできていない 2：できていない 1：わからない

（5点満点）

基本方針	基本的方向	施策	取組	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1	R6年度	R5年度
予測困難な時代を生き抜く力を育む教育の推進	「確かな学力」の育成	学力向上の推進	1. 指導計画の作成及び観点別評価と指導の一体化	5	37	7	1	8	3.5	3.6
			2. 生徒の多様性に対応した授業	16	36	4	1	1	4.1	4.1
		国際理解を深める教育	3. 外部試験（GTEC等）の活用	8	9	9	6	10	3.0	2.5
			4. AIタイムの充実	15	15	8	6	14	3.2	3.5
			5. アートマイル等、海外校との交流	8	16	5	5	24	2.6	3.4
		情報活用能力の育成	6. 教員がICT機器を用いて行う授業	9	25	13	8	3	3.5	3.6
			7. 生徒が主体的にICT機器を活用する授業	3	20	19	10	6	3.1	3.2
	「豊かな心」の育成	人間力の育成	8. 生徒会活動の活性化	9	33	4	1	11	3.5	3.6
			9. 生徒主体の文化祭	15	35	4	1	3	4.0	3.9
		体験活動の推進	10. 研修(修学)旅行等、校外学習の活性化	16	32	4	0	6	3.9	3.7
	「健やかな体」の育成	心・技・体の醸成	11. 生徒主体の体育大会・スポーツ大会	16	31	4	2	5	3.9	3.7
			12. 活動方針に基づいた部活動の実施	10	26	8	3	11	3.4	3.0
		健康教育・安全教育	13. 登下校等の安全確保	4	37	4	4	9	3.4	3.8
			14. WBGTを活用した熱中症対策	17	24	10	0	7	3.8	3.5
特別支援教育の推進	多様な学びの充実	15. 一人一人の多様な教育的ニーズに応じた教育の充実	12	35	6	2	4	3.8	3.9	
		一貫性のある支援体制の構築	16. 特別な配慮や支援を必要とする生徒への対応	12	36	7	0	4	3.9	4.0
子どもたちの学びを支える環境の充実	教職員の資質・能力の向上	教職員の働き方改革の推進	17. 校務支援システムの運用	10	24	12	1	11	3.4	3.4
			18. 定時退勤や業務効率化への取組	13	13	13	14	5	3.3	2.8
	学校の組織力の強化	情報共有	19. 情報セキュリティー徹底、情報資産管理	7	28	8	9	6	3.4	3.6
			いじめ・不登校への対応	20. いじめアンケートによる早期発見・対応	19	31	2	1	5	4.0
	学校・家庭・地域との協働による豊かな学びの推進	家庭との協働	21. PTAとの連携	8	26	8	1	15	3.2	3.4
			地域への情報発信	22. HPやClassiを活用した情報の発信	15	27	9	0	7	3.7
		23. 授業公開やオープンスクールの実施		10	34	10	1	3	3.8	4.0
	多様性の尊重	子ども多文化共生教育の充実	24. 母語による支援の充実	21	25	6	2	4	4.0	
			25. 日本語指導の促進	22	24	7	0	5	4.0	
	安心・安全の確保	学校安全の取組の充実と危機管理態勢の整備	26. 安全に関する教室・講演会の実施	11	33	3	3	7	3.7	
27. 定期的・日常的な点検の実施			7	25	12	4	10	3.3		
28. 災害に備えた学校防災体制の充実			7	30	8	6	6	3.5		

令和6年度 兵庫県教職員資質向上指標による自己点検

分野	資産	教員としての資質の向上に関する指標	評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	R6年度	R5年度
学習指導	授業実践力 授業改善力	1. 学校教育目標や生徒の実態を踏まえた年間指導計画を作成し、計画的に授業を進めることができる。	11	33	6	2	2	3.9	3.8
		2. 学習指導要領の目標や内容に基づき、生徒の実態に応じた授業を設計することができる。	11	33	8	0	2	3.9	3.9
		3. 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。	12	31	8	1	2	3.9	3.8
		4. 評価規準等に基づき、生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。	6	35	6	1	6	3.6	3.8
学級経営・ 生徒指導	集団を高める力	5. いじめ、不登校などの教育課題の緊急性や重要性を理解し、その予防・解決に取り組むことができる。	11	28	4	0	11	3.5	4.0
		6. 学年・学級目標の実現に向け、学級経営案やホームルーム計画の立案・実行・改善ができ、生徒が安心して過ごせる学級づくりに取り組むことができる。	9	25	8	1	11	3.4	3.3
チームで 体制作り 組織を担う	協働性・同僚性	8. 「教職員の勤務時間適正化推進プラン」をもとに、ワーク・ライフ・バランスや勤務時間の適正化を意識しながら、計画的に仕事を進めることができる。	13	27	6	8	0	3.8	3.5
		9. 生徒への指導等に関して、同僚・先輩や管理職等に相談し、指導に生かすことができる。	15	35	1	2	1	4.1	4.0
	組織的対応力	10. 校内における自分の役割を認識し、校務分掌を的確かつ効率的に遂行できる。	10	34	3	2	5	3.8	4.1
		11. 校内の情報を適切に管理し、取り扱うことができる。	9	39	1	3	2	3.9	4.2
資質を 高める 自立性	自己管理能力 変革力	13. 日頃から、ストレスマネジメントに努めるとともに、教員として自覚ある行動をとることができる。	13	33	4	3	1	4.0	4.2
		14. 適切な言動を心がけ、生徒や保護者等からの信頼確保に努めている。	19	29	0	3	3	4.1	4.1
		15. 日々の実践等を振り返り、主体的に自らの教育活動の工夫・改善に努めている。	15	31	6	1	1	4.1	4.1

## 学校評価アンケート集計（生徒）

4：そう思う 3：少し思う 2：あまり思わない 1：そう思わない （4点満点 但し項目4は2点満点）  
（質問項目4については、2：はい 1：いいえ）

内容	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	R6年度	R5年度
1 授業に熱心に取り組むことができた。	164	158	26	5	3.4	3.3
2 予習・復習等の家庭学習の習慣がきちんと身についた。	80	152	89	32	2.8	2.7
3 AIや総合的な探究の授業に熱心に取り組むことができた。	166	148	31	7	3.3	3.4
4 部活動を続けていますか。	/	/	232	118	1.7	1.6
5 部活動に熱心に取り組むことができた。 （部活動に入っていた人のみ）	173	57	26	14	3.4	3.4
6 文化祭に積極的に取り組むことができた。	269	69	7	6	3.7	3.7
7 体育大会に積極的に取り組むことができた。	244	86	17	6	3.6	3.5
8 校外学習に積極的に取り組むことができた。	263	76	9	4	3.7	3.7
9 授業について満足している。	44	241	60	8	2.9	3.0
10 授業・部活動以外の学校生活について満足している。	129	190	29	4	3.3	3.4

設問10 設問9「授業について満足している」で「4」または「1」と答えた人はその理由を書いてください

- ・先生の説明がわかりやすく、授業のおかげでいろいろな知識をもてるようになった。
- ・先生の字がわかりやすい、話がわかりやすい。
- ・先生の熱意を感じる。
- ・楽しみながらも真面目に吸収しようと思った。
- ・授業で、配布されたプリントを使用して、重要な部分がわかりやすい。
- ・喋っている人がいるし、その人たちに気づいても注意をしない先生もいる。うるさすぎると思う。

設問12 設問9「授業・部活動以外の学校生活について満足している」で「4」または「1」と答えた人はその理由を書いてください。

- ・食堂を使えたりするところがよい。
- ・部活が楽しい。
- ・先生や友達、部活の仲間と関わるができる。
- ・友達も以前より作れたので学校生活に満足している。
- ・昼休みも長く、校則が厳しすぎないから過ごしやすい。
- ・校外活動や修学旅行が楽しい。
- ・いつもある程度自由にさせてもらっているから毎日が楽しい。
- ・友達や先生、環境に恵まれて特に不自由なく学校生活を過ごしている。
- ・最近感じることは、下の学年になるほど服装や態度が乱れている人が多いことだ。  
芦国には素敵なたちのぼうがたくさんいることもわかっていますが、制服私服併用期間など校則が緩くなりつつあるので、そのような自由な校則の上で整った学生生活が過ごせる生徒を芦国のみんなは待っていると思います。
- ・素晴らしい仲間たちと毎日過ごして楽しいし、刺激をもらっている。
- ・目標に向かって頑張っている。
- ・挨拶する人が多いし、楽しい。
- ・非常に充実した6年間だった。申し分がないとはこのこと。

# 学校評価アンケート集計（保護者）

4：そう思う 3：少し思う 2：あまり思わない 1：そう思わない

（4点満点）

内容	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	R6年度	R5年度
1 授業に熱心に取り組むことができた。	67	96	26	7	3.1	3.3
2 学校生活全般を楽しく過ごしていた。	150	36	6	4	3.7	3.6
3 文化祭等の学校行事やスポーツ大会等の生徒会活動に積極的に取り組んでいた。	136	53	4	2	3.7	3.7
4 部活動に熱心に取り組んでいた。 （お子様が入部していた方のみ）	113	26	8	4	3.6	3.6
5 子どもを芦屋国際中等教育学校で学ばせてよかった。	128	59	5	2	3.6	3.7
6 異なる国籍・言語・文化背景を持った友だちと学ばせてよかった。	170	23	1	0	3.9	3.9

設問1 「授業におおむね満足していた」に関して、「2」「1」と答えた方はそのように思われる理由をお書きください。

- ・大学受験や世界の人たちと、大きくなれば否が応でも争い合うことになる（大学受験や就職、起業にしても）が、その下準備としての学力と考えると、一般的な公立中学では普通なのかもしれないが、もう少しレベルが高くていいと思う。
- ・自分からわからないことを質問できたり、授業後、わからないところを先生に聞きに行くと快く教えてもらえたと言っています。
- ・英語の教育に期待している。
- ・前の学年ではいじめられていたが、今ではいじめていた4人と別のクラスになった為、授業に集中することができ大変満足できたと思う。
- ・先生によって熱心な先生と、まったくそうでない先生の差が激しかった。

設問3 「学校生活全般を楽しく過ごしていた」に関して、「2」「1」と答えた方はそのように思われる理由をお書きください。

- ・携帯電話の校内使用などルール違反、SNSの使い方など、他生徒の行動に対する不満が多く、きちんとルールを守る生徒ばかりだと家で嘆いている。
- ・学校は楽しいけれど、人間関係で悩む事が多く、先生や友達に話を聞いてもらい前向きに捉えるよう頑張っていたが、行きたいけど行きたくない、という気持ちが体調にも影響して休む事も多かった。
- ・生徒同士多少の行き違いはある場合もありますが、それも子供自身が「経験」と捉えて、自分の捉え方を変えたり、見方を変えたりしながら楽しくしているようなので、楽しい学校生活を送れていると思います。
- ・不登校にもならず、毎日楽しそうです。友人関係で何かあっても自分たちで解決しているようです。

設問5 「文化祭等の学校行事やスポーツ大会等の生徒会活動に積極的に取り組んでいた」に関して、「2」「1」と答えた方はそのように思われる理由をお書きください。

- ・学校側が予行練習や準備に十分な時間を割いておらず、もう少しイベントに対して力を入れて欲しい。
- ・文化祭について、展示物や案内などにあまり力が入っていないと感じました。単にぶらぶらしている生徒さんが多かったように思います。
- ・委員活動や、イベント行事に自主的に取り組んでいる。
- ・自分のできることを一生懸命取り組んでいた様子でした。

設問7 「部活動に熱心に取り組んでいた」に関して、「2」「1」と答えた方はそのように思われる理由をお書きください。

- ・家庭の事情がない限り、授業がない日でも自分で早く起きて学校に向かい、手を抜かず部活を頑張る様子が見受けられました。
- ・部活動に通ってほしいですが、日本語を覚えることに精一杯でやる気が出ない。
- ・先生は素晴らしく子どもも学ぶことが多かった。芦国ならではの部活で入ってよかったと言っている。

設問9 「子どもを芦屋国際中等教育学校で学ばせてよかった」に関して、そのように思われる理由をお書きください。

- ・ 異国籍の子と一緒に学ぶことで他の国への壁などなく普通にクラスメイト、友達として接しているように思う。
- ・ 高校受験に向けた3年間ではなく、それぞれが思い描く目標に向け有意義に過ごすことができることをメリットに感じていたが、まさに課外活動に積極的に取り組むことができ、充実した3年間を過ごすことができた。
- ・ 「自分はこの学校に合っている」「この学校に通えてよかった」と本人が言っている。
- ・ 社会にはいろんな人が存在している（先生方大人を含め）、ということを学校という限られた世界でここまで感じ考える機会は無いので。
- ・ 同じような境遇の生徒たちが集まる場所で学べることは、子どもにとってとても貴重な経験だと思い感謝しています。
- ・ 生徒の多様性を反映して、仕組みや取り組み方に関しても多様性を包括する方法を模索していくとさらに良い学校生活になるのではと思います。いつもありがとうございます。
- ・ 多文化共生を掲げ、生徒に対して柔軟な考え方や寄り添う心を持っている先生が多く感じる。
- ・ 色んなバックグラウンドで育った生徒達。個性も強い生徒も多い中、諦めずに接していただけて感謝しています。
- ・ 幼少期から海外で生活してきた子どもにとって、似たような環境で育ったお子さんたちと過ごせることは心地よく、また刺激になっている。先生方がよく理解してくださっていることもとてもありがたく感じている。
- ・ 自主性をもった生徒が多く見受けられました。その中でよい影響を受けていろいろなことに興味を持ち、自ら考え、チャレンジしてみようということが後期では増えたように思います。先生方のユニークな授業も楽しんでいました。心を痛める出来事や、辛いこともありましたが、寄り添ってもらえる友達の存在に助けられました。また先生方のお心配り、サポートのおかげで6年間元気に通学できたことを感謝しております。
- ・ 学習指導は少し物足りない気がするが、集まった生徒たちは、国際色豊かで、そうした環境で学べていることはプラスだと感じる。あと面接試験を経ているからか、全体的に生徒達が礼儀正しく、その点で学ばせて良かったと感じる。
- ・ 子どもはとても楽しく通っています。男子ですが部活の部員人数が少なく試合へのモチベーションが低い。

設問11 「異なる国籍・言語・文化背景を持った友達と学ばせてよかった」に関して、そのように思われる理由をお書きください。

- ・ 元々、幼少期の海外生活もあり、他国の多様な考え方を尊重できているが、さらに、多種多様な考えを受け入れられるようになってきている。また日本人として日本を誇りに思うという当然の考え方もしっかり持っている。
  - ・ 自分と違う意見や考えも持つ生徒や先生の話聞き、理解しようとする中、その中で自分が思うことに敬意を払われ、伝えるという機会をいただけることは子供にとって何事にも代え難い体験だと思います。
  - ・ グローバル化が加速する中、いろいろな背景があるのが当たり前ということを肌感覚で学べたことが大きな財産となった。文化によって主義主張も異なる中で、接し方、折り合いのつけ方を無意識に、でも真摯に受け止めて学べたことが良かった。これらを社会に出る前に10代に経験できたのは芦屋国際の環境ならではです。
  - ・ 国籍やバックグラウンドが違ってても、学校生活を通して同じように楽しんだり大変な思いをしたり、色々と共有する中でお互い一人の人として付き合うことができたのはとても貴重な経験だと思います。また我が家は日本国籍ですが、長く海外にいたので帰国後馴染めるか心配でしたが、芦国では悪目立ちしたり浮いたりせず、1人1人を尊重する雰囲気が自然とあり、本当に良かったと思います。
  - ・ 複数の言語を自由に話せるクラスメイトから日々刺激をもらっているようです。また、海外のことに触れたニュースを目にする際に、子供なりに冷静に「政治」と「個人や国籍」とを切り離した考えを持ちつつあることに感心しています。
  - ・ 世界や社会事象に興味や関心を持ち、ニュースなどを見ながら、自分ごととして考えたり意見を言うようになった。
- その他 上記の他に、今年度1年間を振り返って、学校の教育活動へのご意見等があればお書きください。
- ・ クラッシーで写真を交えて様子を伝えてくださるのがありがたいです。子どもから聞けなかったことも写真で伝わり会話も増えています、ありがとうございます。
  - ・ 部活動も引退まで一生懸命に参加していました。先生方が暖かくご指導してくださったので部活が楽しく、いいメンバーにも恵まれ頑張ってきたのだと思います。進路指導も丁寧にみていただき安心してます。
  - ・ 先生たちの多様性を反映し、それぞれが自由に自主的に学びを進めていく、好きなことを見つけていく教育がされる

とさらに素晴らしい学校になるのではと思います。その中で私たち保護者も学校の皆さん、生徒さんをサポートすることができればと思います。

- ・意欲的な先生が増えれば、その情熱は子供たちに伝わるので、まずは先生同士が埼玉などの英語力が伸びている地域に出向けるなど、学びが増やせる環境整備が整えばいいと思います。こどもたちは新しいことやビッグなことが大好きです。
- ・いつも熱心に子供たちを見守ってサポートしていただき感謝しております。

私服で登校する期間ができたり、スマホを預けず自分たちで管理するところが一見自由に見えますが、入学した頃は子供たちが自由な発想で子ども発信で先生方の協力をいただきながら学校生活を送れているように思えていましたが、最近は自由な発想というより、他の公立中学のように規則で縛られていっているように思うところは少し残念。

「ダメだ」で子どもを縛るのではなく、自分たちで何が良く何がダメなのかをもっと子どもたちで考え、それを信じて個性を伸ばせるような環境になるといいなと思う。

- ・英語の教育にもっと力を入れて取り組んでほしい。1人1台端末の教育をもっと進めてほしい。
- ・今年度の修学旅行ではファームステイを通してコミュニケーション力に自信がついてきたと話していて、またどこかに留学してみたいとも語っていました。本当にいい経験ができてよかったと思っています。海外での引率、先生方大変だったと思います。どうもありがとうございました。
- ・授業の中で子どもたちが考える時間をもっと増やしていただけたらうれしいです。子供たち同士で意見交換し、日常的にプレゼンするような授業もあるといいなと思う。課題等でのPCの活用も更に増えることに期待しています。
- ・学校生活はとても楽しんでおり、芦国に進学したことに大変満足しております。いつもありがとうございます。